

いきいきりゅうおう

編集発行
竜王町老人クラブ
連合会
No.100

令和八年は再生元年 会員の繋がりと連帯を求めて

竜王町老人クラブ連合会副会長 西村明夫



力強さ、躍動、成功を象徴し物事が好転する縁起の良い年と言われる午年になり、すでにひと月を経過しましたが、皆様にはご壮健でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

平素は本会の活動に温かいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本会は会員相互の親睦、健康づくり、地域とのつながりを大切に、皆様の笑顔に勇気をもらいながら、活動を続けてまいりました。

しかしながら本会の会員数も、全国的な老ク連の衰退傾向に歩調を合わせるように、年々減少の一途を辿り、現在の会員数は 1000名を

下回るといふ危険水域に突入しました。令和元年からの動向を調査したところ、令和元年の加入支部が30支部で会員数が2000名超であったものが、ここ数年は櫛の歯が抜け落ちるようになり、支部単位での脱会が相次ぎ、令和7年度は加入支部15支部、会員数1000名弱となり正に半減する事態となっております。

我が国は世界に例をみないスピードで超高齢社会に突入し、65才以上の高齢者が全体の30%弱を占めるといふ時代でありながら、会員数が減少するという皮肉な現象であります。この原因は色々ありますが一言で言えば『全体から個への社会構造の変化』に凝縮されると考えます。

本年は竜王町老ク連に取りまして、正に再生か衰退かの分水嶺の年にな

ると予想しております。この事態をただ見守るだけでは、再生への道は開かれませんが、脱会された支部・会員に対しても、「繋がりと連帯」の火種があるようなら、積極的に再加入を働きかけ、会員増に繋げていきたいと考えています。

一方、次年度の事業活動については、皆さんにとって参加したいと思わせる有意義なものとなるよう、会員の皆様からも積極的に忌憚のないご意見を拝聴させて頂き、相互理解の基に推進していく所存でございます。積極的なご参加をお願いいたします。

結びに皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。



町行政の情勢と 老人クラブ活動に期待すること



竜王町長 西田 秀治

竜王町老人
クラブ連合会

の会員皆さまには、ますますご壮健でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃より竜王町のまちづくりにご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年は、町のバランスの取れた発展をめざす「竜王町コンパクトシティ化構想」に基づく中核整備が進展し、新竜王小学校が開校いたします。併せて、学童保育所や共用駐車場の供用開始、公園の整備開始など、新しいまちの姿が皆さまの目に見える形で進んでまいります。また、急速に進む高齢化社会への対応においては、誰もが安心して暮らし続けることのできる「地域共生社会」の実現をめざして、高齢者分野の総合計画である「竜王スマイルエイジングプラン2027」の策定など、将来を見据えた持続的なまちづくりを進めてまいります。また、老人クラブの皆さまにお

かれましては健康づくりや地域での支え合い等の活動を通して、「つながり」を大切にしながら、竜王町の高齢者の方々がいつまでも住み慣れた地域に「誇り・愛着」を持って自分らしく暮らせるまちづくりに貢献いただいております。心より感謝申し上げます。

近年、若手会員の加入減少や役員の高齢化、事業への参加意識の多様化など、様々な課題が重なり、老人クラブの小規模化が進んでいくところではありますが、会員お一人おひとりが、これまでの歩みの中で培われた豊かな知識や技術を活かし、今後も本町の住民が健康で豊かに生きるための仲間づくり、健康づくり、地域づくりの基盤である老人クラブ活動の活性化に取り組んでいただくことをご期待申し上げます。

結びになります。竜王町老人クラブ連合会の益々のご隆昌と会員皆さまのご健康を心からご祈念申し上げます。

社会福祉活動の取り組みについて



竜王町社会福祉協議会会長
今井 安徳

日本では、
少子高齢化・

人口減少が進み、支える側が減少し、支えられる側が増加しています。

また、家族や地域との接点が薄くなり、孤立・孤独状態に陥りやすい社会状況になっていきます。

竜王町においても一人暮らし高齢者世帯の増加が見られ、令和2年の国勢調査で、382世帯となっており、これは、その前の国勢調査の2倍となっています。

このような社会情勢の変化の中で、竜王町社会福祉協議会では、地域において、気になる人を見守る仕組みづくりを推進しています。

竜王町では、各字ごとに組織されている福祉委員会があり、福祉委員会は、区長、民生委員児童委員、福祉委員を中心に各字での見守り活動をはじめ、地域福祉活動に取り組んでいただいております。

特に、見守り活動を行う時に、その方法などを地域で話し合いながら行っていく場づくりを進めています。

近年、日本各地で災害が発生し、甚大な被害が多発しています。昨年12月にも青森県で震度6強を観測する地震があり、その後、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されました。

その後も日本各地で地震が発生しています。また、南海トラフ地震は、いつ発生してもおかしくない状況だとも言われています。

竜王町で進めている普段の見守り活動や地域で行われる様々な活動を通して、日ごろからの顔の見える関係を築いておくことで、災害時における避難や助け合いに活きてくることとなります。

この取り組みにご理解をいただき、ご支援賜りますようお願いいたします。

第18回

竜王町老人クラブ大会

第18回竜王町老人クラブ大会は、10月20日(月)竜王町公民館1階ホールで開催されました。

第1部の式典では、吉田会長の挨拶の後表彰式に移り、功労者表彰と優良老人クラブ表彰を実施、金婚者祝詞として15組のうち9組のご夫妻の参加があり祝詞を受けられました。

その後、竜王町西田町長、竜王町議会澤田議長、社会福祉協



議会今井会長の来賓祝詞が述べられ、受賞者を代表して清水正作氏の謝辞があり、大会宣言が採択され式典を終えました。

今回の大会で、竜王町老人クラブ連合会長表彰、祝詞を受けられた方は次の通りです。

●功労者表彰

- ・古株 克彦

●優良老人クラブ表彰

- ・弓削老人クラブ
- ・新村老人クラブ

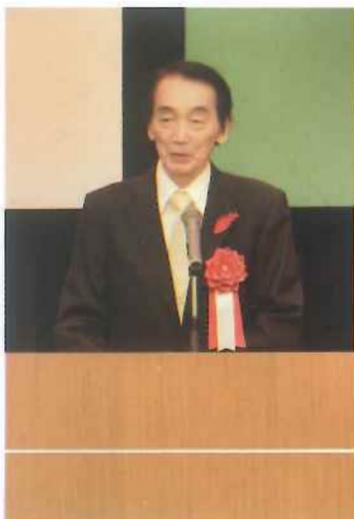
●金婚者祝詞

- | | | |
|-------|------|-------|
| 高橋基 | ・敏子 | (田中) |
| 山本孝雄 | ・恵子 | (田中) |
| 勝見兵治 | ・ふぢ江 | (田中) |
| 古株敬助 | ・孝子 | (小口) |
| 古株幸三郎 | ・信子 | (小口) |
| 三崎喜雄 | ・正子 | (岡屋北) |
| 三崎静雄 | ・多智子 | (岡屋北) |
| 樋田健次郎 | ・富士子 | (岡屋北) |
| 松浦博 | ・つや子 | (岡屋北) |
| 辻澤敏夫 | ・昌子 | (岡屋南) |

- | | | |
|-------|------|-------|
| 峯川久男 | ・富子 | (岡屋南) |
| 市岡佐登志 | ・ひろみ | (山中) |
| 市岡宇佐美 | ・美起枝 | (山中) |
| 山中通吉 | ・しげ子 | (山中) |
| 清水正作 | ・和美 | (新村) |



第2部はミュージックサロン「SanHeart」のMark iさんをお招きして、鍵盤ハーモニカやカリンバの楽器による懐かしい曲の演奏をしていただきました。



謝辞

新村 清水 正作

金婚者を代表致しまして、一言御礼申し上げます。

木々が色づく爽やかな季節の本
日、令和7年度竜王町老人クラブ
大会におきまして、結婚50年を迎
えました私共の為に、盛大な式典
を執り行つて頂きました。

ご来賓の村木副町長様を始め、
澤田議会議長様、今井社会福祉協
議会会長様より、心温まるお祝い
の言葉を賜り、又老人クラブ連合
会よりご祝詞と記念品まで頂戴し、
誠にありがとうございます。本
日出席9組の金婚夫婦を代表致し
まして、心より御礼申し上げます。
さて、この半世紀を振り返りま
すと、それぞれ山あり谷ありの人
生で、高度成長期と低迷期を経験



した世代でございます。どの様な
状況にも、仕事に集中・邁進出来
たのは、家内の内助の功があつて
こそ、家庭と地域の諸事を、二人
三脚で乗り越えられたのは、結婚
以来地域に溶け込んだ、きめ細か
な助言があつてこそと、感謝致し
ております。

二人揃つて健康に金婚式を迎え
られた事は、人生の最大の喜びで
ございます。

先輩諸氏や友人・地域の皆様方
からのご指導・ご鞭撻に心よりお
礼申し上げます。

定年後は、竜王町老人クラブに
入会させて頂き、地域の老人会活
動に参加して、地域の皆様と楽し
んでおります。

これからも、健康第一で家族・
友人・ご近所の皆様と楽しく過ご
しながら、少しでも地域に貢献し
たいと思う次第でございます。

皆様のご健勝と、竜王町老人ク
ラブ連合会のご発展をご祈念申し
上げ、お礼の言葉と致します。
本日は、誠にありがとうございます
ました。

優良老人クラブ

表彰を受賞して

弓削老人クラブ 須藤 英治

令和7年10月20日の竜王町老人ク
ラブ大会において優良老人クラブ表
彰を頂きました。年々会員数が減少
し活動も縮小している中での表彰
は、長年地道な活動を評価されたも
のと思い、今後の活動の励みとなり
ます。

本年度本部の各行事に、当支部か
ら予想以上の参加者が有りました。
中でも大阪万博見学ツアーはタイム
リーな企画であり参加者には、大変
好評でした。

弓削支部の活動として遊園地・神
社・コミュニティセンター他の定期
清掃、花壇の管理、健康維持のため
のグラウンドゴルフ・ゲートボール
同好会活動、又親睦会開催で全員相
互の親睦を深めています。

今後も元気で楽しく集える老人ク
ラブである様会員一同で取り組んで
いきたいと思ひます。



新村老人クラブ 竹内 健

令和7年10月20日竜王町老人ク
ラブ大会において優良老人クラブ表彰
をいただきました。

今回の表彰は、長年、新村老人ク
ラブの地道な事業活動が認められた
ものと思ひます。

新村老人クラブは、偶数月に月例
会を開催しています。また、75歳ま
での若手会員様には、おたつ者教室
の支援、福祉サロンの支援、スクー
ルガード活動のいずれかに所属し、
男子若手会員は除草班で神社清掃を
受け持っています。年に1回会員研
修旅行を今年度は、長島温泉/湯あ
みの島へ28名参加を頂き楽しい研修
となりました。

隔月に行う例会行事に元気な姿を
拝見させて頂き、『和と輪でつなぐ
しむらの絆』が益々深まり、持ち場
で自立し地域に貢献しましょう！

第64回滋賀県老人クラブ大会の開催

滋賀県老人クラブ大会が令和7年10月30日(木) 栗東芸術文化会館さきらで「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくり」をテーマに開催されました。

西澤県老ク連会長の挨拶の後、県知事及び県老ク連会長表彰が行われました。

竜王町では、功労者表彰で前会長の古株克彦氏、優良老人クラブ表彰で、西横関老人クラブ久田会長がそれぞれ受けられました。

その後、東岸佐優里さんによる「楽しく歌って脳を元気に！」と題して講演がありました。



功労者表彰を受賞して

小口老人クラブ 古株克彦

滋賀県老人クラブ大会において、老人クラブ育成功労者として県老人クラブ連合会会長表彰を受けました。

令和2年2月に町老ク連の副会長の要請を受けて5年余、会員皆様をはじめ運営委員の皆様や役員・事務局の方々の協力の下、無事会長まで務めることが出来ました。お世話になったことに感謝申し上げ厚く御礼申し上げます。

既存団体の会員離れの世相を反映して、当老ク連も同じような傾向をたどっています。会員の意識をこちらに向かわせるべくいろいろな策を打ってきましたが、歯止めがかからなかったのが心残りです。今後魅力的な企画で会員が集い、親睦を図り、健康を維持できる団体へと一層隆盛に向かわれることをご祈念申し上げます、受賞の報告・謝辞いたします。



優良老人クラブ 表彰を受賞して

西横関老人クラブ会長 久田清和

滋賀県老人クラブ大会において、優良老人クラブ表彰として県老人クラブ連合会会長表彰を受けました。

これは長い年月、会員の皆様または役員の方々の努力の結果だと深く感謝します。ますます高齢化が進む中、就労形態の変化による新規加入者の減少など、クラブ存続事態にも大きな課題が出ています。

自分の健康のため、クラブに入って地域のために何か小さなことでも自分にできることを楽しんでやることを目標に活動を続けたいと思っています。





お供え花にもなります!

令和7年度は、出前講座として「フォトフレーム」つくりと「和のアレンジメント」つくりを本部役員と女性部長さん、単老ク女性会員の皆様に集まって頂き、開催しました。

9月10日(水)午前、公民館で33名の参加のもと、今年度1回目の「フォトフレーム」作りを行いました。フォトフレームにドライフラワーを貼り付けて作るものです。県老人クラブ

の「アレンジメント」作りを行いました。県老人クラブ連合会の2人の先生から指導を頂き作成を行いました。お正月用の花として陶器のカップ中へドライフラワーをちりばめて、それぞれに納得の出来る素晴らしい物が出来上がりました。

来年度は、男性の会員さんも参加できる出前講座を予定していますので、皆様方の参加をお待ちしております。



出前講座
「フォトフレーム」
「和のアレンジメント」作り
女性活動部

連合会の2人の先生から指導を頂き作成を行いました。各自の出来栄えの違いに一喜一憂する楽しい時間でした。

師走に入った12月10日(水)午後、公民館で53名の参加者のもと、今年度2回目の「和

EXPO2025 見学ツアー





1月17日(土) 13時30分、竜王町公民館ホールで、いきいきりゅうおう(竜王町老人クラブ連合会)主催の第8回シルバーカレτζが開催され、137名の会員さんに参加していただきました。

前半は、社会人落語家「井筒家磯七」さん、演目は健康落語「笑いは心のくすり」、社会人落語家「三流亭志ば落」さん、演目は古典落語「貧乏神」と2席の落語を聴きました。

後半は、防災士(県老ク連副会長)の西村保子さんをお招きして「いざという時に備えよう!」のテーマで講演と実務交えた防災体験を行って頂き、参加者は講師の話術にはまりながら楽しく防災の話を教えていただきました。

肩のほらない参加者も一緒に楽しめるシルバーカレτζとなりました。



第33回 老ク連主催グラウンドゴルフ大会開催

去る11月26日(水)第33回老ク連主催グラウンド・ゴルフ大会を開催しました。総数で29チーム、選手と応援者を含め205名の参加者となりました。

競技は各チーム6名編成で各単老クから選抜された皆さんが参加され、和気あいあいと楽しくゲームをしていただきました。競技の合間には、地区の皆さんやお知り合いの方との談笑にも花を咲かせ、ひと時の交流をはかっていたいただきました。

グラウンド・ゴルフは誰でも参加できるゲームであり、来年も奮って参加していただくようお願いいたします。競技の結果は次の通りです。

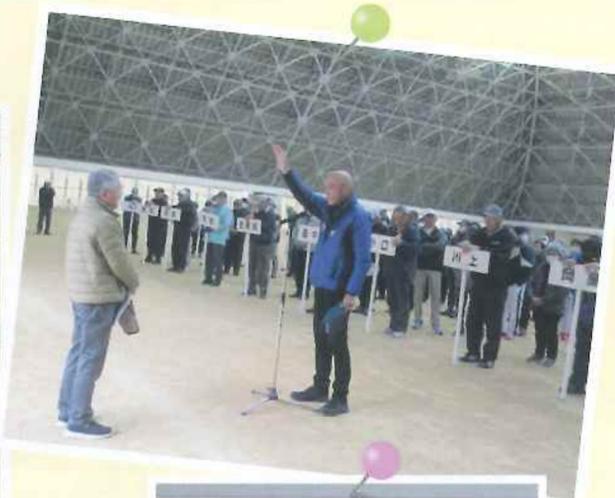


第33回 グラウンドゴルフ大会

優勝 岡屋Aチーム

準優勝 岡屋Cチーム

第3位 西出Aチーム



第3位：西出Aチーム

優勝：岡屋Aチーム

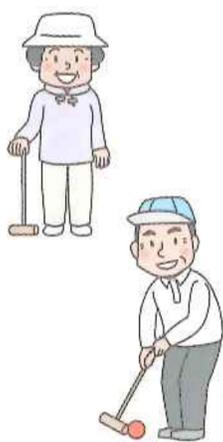
準優勝：岡屋Cチーム

第46回 老ク連主催ゲートボール大会開催

去る11月28日(金)第46回老ク連主催ゲートボール大会を開催しました。高齢化と競技人口の減少もあり総数で7チーム、選手と応援者を含め60名の参加者となりました。

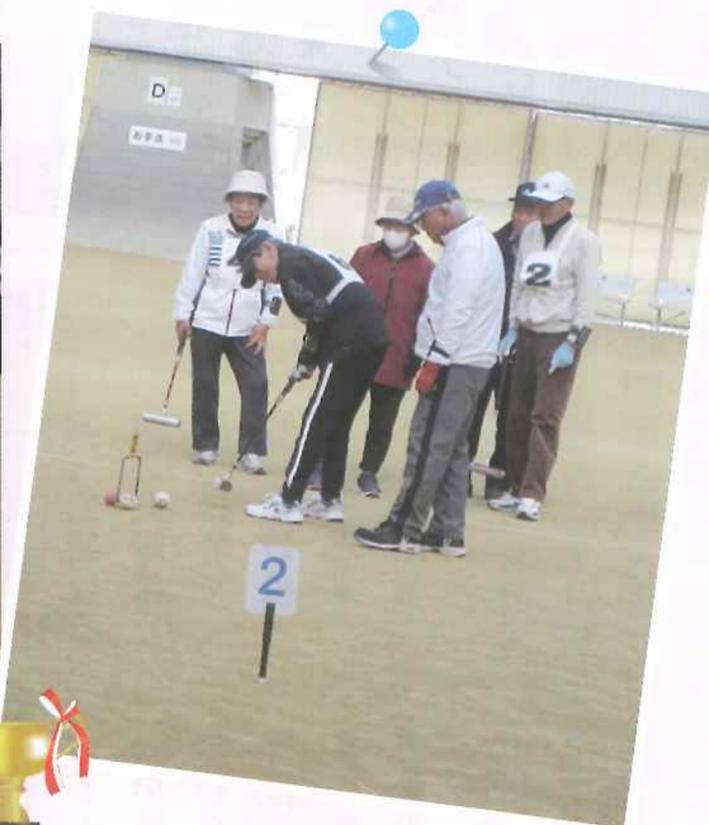
競技は各チーム5名編成で各単老クから選抜された皆さんが参加され、第1ゲート通過に苦しみながら、その後は皆さん和気あいあい楽しくゲームをしておられました。競技の合間には、地区の皆さんやお知り合いの方との談笑にも花を咲かせ、ひと時の交流をはかっていたいただきました。

競技の結果は次の通りです。



第46回
ゲートボール大会

優勝	田中チーム
準優勝	小口チーム
第3位	新村チーム



第3位：新村チーム



優勝：田中チーム



準優勝：小口チーム

竜寿冠



令和七年十一月二十五日(火)
企画 竜王町老人クラブ連合会

●多評通り高点

- 一 夫婦旅 寄り添い歩く長い道 多記夫
- 二 窓開ける 心澄む日もなげく日も 花子
- 三 夫婦旅 普段見ぬ顔はずむ声 忠彦
- 四 夫婦旅 心の隙間満たし合う 米子
- 五 一思案 塩足す祖母の指の先 文恵
- 六 約束す 次世へと継ぐ核無き世 保
- 七 約束す 小指の温み孫の笑み 博美
- 八 微酔で 口を滑らす遠い恋 円寿
- 九 一思案 百歳の道如何に生く 喜代美
- 十 窓開ける 家風一新子の世代 保

●二評通り高点

- 一 窓開ける 心澄む日もなげく日も 花子
- 二 一思案 塩足す祖母の指の先 文恵
- 三 微酔で 一気呵成に想い告げ 欣英
- 四 一思案 八十路の先を如何に生く 稔
- 五 一思案 農の継承是非を問う 保
- 六 夫婦旅 普段見ぬ顔はずむ声 忠彦
- 七 約束す 日々の鍛錬汗の嵩 正二
- 八 窓開ける 縛るもの無き老境に 喜代美
- 九 夫婦旅 心の隙間満たし合う 米子
- 十 窓開ける あなたの心待っています 円寿

●西村吟雪宗匠選

- 天 一思案 農の継承是非を問う 保
- 地 夫婦旅 心の隙間満たし合う 米子
- 人 窓開ける 心澄む日もなげく日も 花子
- 二 一思案 僅かな時間を無駄にせず 絹代
- 三 微酔で でっかく描いた未来地図 米子
- 四 夫婦旅 寄り添い歩く長い道 多記夫
- 五 約束す 指切り交わし夢託す 米子
- 六 窓開ける 希望の一日に差す朝日 保則
- 七 一思案 家計見直す主婦の知恵 厚子
- 八 夫婦旅 付かず離れず何処までも 喜代美

●小森和美宗匠選

- 天 窓開ける 心澄む日もなげく日も 花子
- 地 一思案 塩足す祖母の指の先 文恵
- 人 微酔で 漫ろ歩きも夢心地 正二
- 二 窓開ける 停戦の二字求む我 文恵
- 三 窓開ける 縛るもの無き老境に 喜代美
- 四 夫婦旅 心の隙間満たし合う 米子
- 五 微酔で 昭和を語る友が居る 厚子
- 六 夫婦旅 普段見ぬ顔はずむ声 忠彦
- 七 一思案 農の継承是非を問う 保
- 八 一思案 百歳の道如何に生く 喜代美



●山中流石宗匠選

- 天 夫婦旅 普段見ぬ顔はずむ声 忠彦
- 地 窓開ける あなたの心待ってます 円寿
- 人 一思案 八十路の先を如何に生く 稔
- 二 夫婦旅 幾山越えて終の宿 欣英
- 三 一思案 甘い言葉に乗らぬ様 恵美子
- 四 微酔で 明日にそなえ気分良く 悦子
- 五 夫婦旅 絆深める車椅子 絹代
- 六 約束す 小指の温み孫の笑み 博美
- 七 窓開ける 歴史ロマン紐解いて 保
- 八 一思案 塩足す祖母の指の先 文恵

●古株美里宗匠選

- 天 窓開ける 心澄む日もなげく日も 花子
- 地 微酔で 一気呵成に想い告げ 欣英
- 人 一思案 八十路の先を如何に生く 稔
- 二 夫婦旅 寄り添い歩く長い道 多記夫
- 三 約束す 帰って来てね戦地から 悦子
- 四 一思案 渡り切れない揺れる橋 米子
- 五 夫婦旅 絆深める車椅子 絹代
- 六 微酔で 出した言葉は消せぬもの 絹代
- 七 約束す 日々の鍛錬汗の嵩 正二
- 八 窓開ける 新たな息吹今正に 米子

●西村珠紀宗匠選

- 天 約束す 日々の鍛錬汗の嵩 正二
- 地 夫婦旅 両輪揃い夢叶う 正二
- 人 微酔で 一気呵成に想い告げ 欣英
- 二 一思案 一語拘り辞書捲る 郁子
- 三 窓開ける 若い二人の門出の日 郁子
- 四 約束す 三々九度から今がある 厚子
- 五 夫婦旅 普段見ぬ顔はずむ声 忠彦
- 六 微酔で 口を滑らす遠い恋 円寿
- 七 一思案 塩足す祖母の指の先 文恵
- 八 窓開ける 心澄む日もなげく日も 花子

●松瀬光宗匠選

- 天 窓開ける 縛るもの無き老境に 喜代美
- 地 一思案 塩足す祖母の指の先 文恵
- 人 約束す 次世へと継ぐ核無き世 保
- 二 窓開ける 菽のあたりか虫の声 稔
- 三 一思案 一語拘り辞書捲る 郁子
- 四 夫婦旅 寄り添い歩く長い道 多記夫
- 五 約束す 小指の温み孫の笑み 博美
- 六 一思案 その一瞬間が物を言う 絹代
- 七 夫婦旅 普段見ぬ顔はずむ声 忠彦
- 八 窓開ける 家風一新子の世代 保

会員からの投稿

山柳

西山 堀井 平

パソコンに 八十路意志 伝わらず
 女房に 援助はするが 交際なし
 役に立つ 残しておいたら ゴミになる



俳句

西山 堀井 平

枯木さえ 我類たたく 冬の風
 夜中じゅう 鳴いているのは 蟬時雨
 年の数 資格あれど 地位はなし

短歌

岡屋 西川 花子

農に生きて くわの使い過ぎ 腰痛め
 出来ていた事 出来ぬ悔しさ
 折紙を 折してやれば ひ孫たち
 我も我もと まつわりてくる
 育ち生く 9人のひ孫 それぞれに
 個性いかして 健やかに

原稿募集

次回発行の広報（第101号）の原稿を募集します。

普段思うこと、私の自慢、旅行記、趣味活動等なんでも結構です。会員の皆様からの楽しいご投稿をお待ちしています。

- ◆原稿用紙は「町老ク連」専用用紙、もしくは市販の原稿用紙400字詰めを使用。用紙が必要な方は町老ク連事務局までご請求ください。

- ◆原稿は、題名、住所、氏名を含め400字以内、写真があれば一緒に提出してください。なお、パソコンを使用される方は、一行に14文字でお願いします。データ保存（原稿・写真）されている場合は、そのメディアをお貸しください。下記Eメールアドレスへの送信も受付けます。

アドレス：ryuo-roukuren@zd.ztv.ne.jp

- ◆俳句・短歌・川柳・詩等は用紙を問いません。ご自由に投稿ください。

編集後記



会員のみなさま、お元気で良きお年を迎えられたことお喜び申し上げます。

昨年は私たちの地域では大きな災害がなく、老ク連の事業を計画通り進めることができました。会員の皆様のご協力に感謝いたします。

今年度は、新たな事業を展開し老ク連会員に積極的に活動に参加して頂きたいと考えています。

会員の皆様は、健康に留意され充実した生活と活躍をご祈念申し上げます。